

まほらいな市民大学の様子

令和8年1月22日（木）

『心に灯る、そっと残る話 ～日々の中で出会った大切なこと～』

講師 まほらいな市民大学副学長 福與 雅寿 教育長



福與雅寿教育長から「心に灯る、そっと残る話～日々の中で出会った大切なこと～」と題して心に響くいくつもの話がありました。人は「縁」の中で生きている。「女」「母」「安」「怨」「おかめの五徳」から優しさと思ひやりについて。「おかあさん、ぼくが生まれてごめんなさい（山田康文）」の詩と母親とのやりとり。アニメの「ドラえもん」でしずかちゃんが嫁ぐときに言った父の言葉「あの青年は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だ。それが一番人間にとって大事なことからね。」「一秒の言葉（小泉吉宏）」「相田みつを」の詩。「江戸しぐさ」「よい点は目立たない。あたりまえと思いがち」「信頼残高」「RADWIMPS の正解」の詩など、琴線に触れ、心にしみる話がありました。

学生からは、「福與教育長のあたたかい人柄があふれる話でした。久しぶりに涙腺や心の深いところを刺激されました。」「縁の大切さ、そして今に感謝してときめきを大切にしながら生活しようと思いました。」「一秒の言葉：はじめまして ありがとう がんばって おめでとう ごめんなさい さようなら をこれからも大切にしていきたい。」「すばらしい名言、心にしみわたりました。幸せの因子が心に残りました。ポジティブに生きていきたいと思います。」といった感想がありました。